

平成30年度 山形市立第二中学校の教育

I 本校の教育目標

未来に向かって主体的に生き抜く生徒の育成

～友情・知性・健康・貢献～

＜めざす生徒像＞

- ・友情：思いやりと正義感にあふれる品のある生徒
- ・知性：創造的で、探究する生徒
- ・健康：心身ともに朗らかで健康に満ちた生徒
- ・貢献：人や社会のために進んで行動する生徒

＜めざす教師像＞

- ・常に生徒と共にあり、一人一人を大切にする教師
- ・研究と修養に励み、授業力と人間力のある教師
- ・心と体の成長を育み、いのち（命）を尊ぶ教師
- ・「感動・感謝・信頼」を生徒と共感できる教師

＜めざす学校像＞

- ・笑顔と歌声に満ちあふれ、ぬくもりのある学校
- ・学び合う授業や行事で賢くなれる学校
- ・安全・安心で、かけがえのないいのち（命）を大切にしている学校
- ・花と緑に囲まれ、清掃の行き届いた学校

II 本校の経営方針

- 1 生徒の人間関係を豊かにする思いやりの心を育成し、お互いの良さを認め合う学級づくりを行う。
- 2 「学力は未来に羽ばたく翼」を合い言葉に確かな学力を育成する。
- 3 生徒の地域に発信する、貢献する活動を培い、地域とつながる学級づくりを行う。
- 4 組織の一員として学校経営に積極的に参画し、組織で動くことを大切にする。
- 5 伝統を重んじ、より高い校風の樹立を目指し、全校あげて努力する。

III 学校経営の重点

- 1 日常的に危機意識を持ち、生徒が安全で安心して活動できる環境づくりに努め、心身ともに安定した生徒の育成を図る。
- 2 生徒一人一人のよさを認め、温かい係わり合いと居場所のある学級・学年経営を推進する。
- 3 積極的な生徒指導・教育相談を推進し、いじめや不適應・不登校生徒の未然防止・早期対応に努める。
- 4 探究型学習を積極的に推進し、基礎・基本の徹底をはかるとともに、学ぶ喜びを実感させる授業を行う。
- 5 道徳の授業の充実をはじめ、読書活動を推進し、「いのち」の尊厳、自然への畏敬、人間として生きるすばらしさなどについて学び、豊かな感性と公正な判断力を育成する。
- 6 特別支援教育、情報教育、国際理解教育など社会の変化に対応する教育活動を推進する。
- 7 自主・自律の心を育成する生徒会活動の一層の推進を図る。～五垂の泉・生徒会憲章の実践、いじめ防止、ボランティア活動の活性化～
- 8 学校生活に活力と潤いをつけながら、心身のバランスのとれた成長を期するため、教育活動の一環としての部活動を推進する。
- 9 たより・HPによる発信と行事や授業の公開、学校評議員会や学校評価等を活かし、保護者や地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。

IV 本年度の重点目標（学習・奉仕・挑戦）

【確かな学びを育み、学力向上を図る。】

1 個に応じたきめ細かな指導の充実に努める。

（1）授業改善

- 指導方法の工夫や個別指導を充実させ、一人ひとりに基礎・基本を確実に定着させる。
- 習得・活用・探究のバランスを図り、「学ぶ楽しさが実感できる」授業づくりを行う。

（2）朝学習

- 各学年の実態に応じた朝学習を実施する。（読書、自学、問題作成等）

（3）家庭学習

- 家庭学習の手引きによる指導を徹底する。
- 家庭学習強調旬間を設定し、家庭学習の習慣化と充実を図る。

（4）諸テストの分析と対策

- ONRTや全国学力学習状況調査等の結果の分析を行い、課題等について適切な対策を講じる。

2 授業力向上を図る研修の充実

（1）公開授業研究会（平成31年10月実施）

- 来年10月に行われる公開授業研究会を成功させる。
- 研究の成果を市内外に積極的に発信する。

（2）校内授業研究会

- 校内授業研究会を充実させ、研究の成果と課題を明確にする。

（3）探究型学習

- 研究テーマとの関連を図り、探究型学習を推進する。
- 市教育委員会と連携を図った取り組みを行う。

（4）校内外研修

- 教材や指導法についての情報交換や講演・講習など、校内での研修の機会を積極的に設ける。
- 先進的な指導技術の習得のため、校外での研修を積極的に推進する。

3 今日の課題に対応した教育の充実

（1）特別支援教育

- 特別支援コーディネーターを中心に、個に応じた支援計画を作成し、組織的に支援を行う。

（2）キャリア教育

- 働くことの大切さや喜びを実感する活動を充実させる。
- 進んで自己の役割を果たそうとする態度を養う。

（3）情報モラル

- 技術の時間を中心としながら、他機関との連携を図り、情報モラルの向上に努める。

（4）ボランティア教育

- 生徒会を中心としたボランティア活動を積極的に推進する。

【思いやりのある豊かな心の育成する。】

1 心の通い合う集団作りに努める

（1）学級会活動

- 所属感を高める取り組みを実施する。

（2）生徒会の取組

- 心の通い合う挨拶の徹底を図る取り組みを積極的に行う。

（3）異学年交流

- 異学年交流を充実させ、学年を超えた集団づくりを行う。

（4）各種行事への取組

○各種行事への取り組みを通して、集団としての機能を充実させる。

2 規範意識の高揚に努める

(1) 道徳の授業の工夫

○規範意識を高めるための道徳の授業を工夫する。

(2) 話し合い活動の充実

○諸課題に対して、話し合いを通して解決するようにする。

(3) 生徒会の取組

○自浄作用を高める取り組みを積極的に行う。

(4) 初発指導の徹底

○初発指導の徹底を図り、同一步調で指導に当たる。

○教職員、全校生徒、保護者の共通理解を図る。

3 教育相談機能の充実を図る

(1) 生活アンケート

○毎月1回のアンケートを実施し、早期に悩みを把握できるようにする。

○アンケート後の気になる生徒と確実に二者面談を行い、いつでも悩みを相談できる体制を整える。

(2) QUテスト

○年間2回実施し、学級の実態を把握する。

○QUテストの見方についての研修を実施し、効果的な活用を図る。

(3) 生徒理解研修会

○生徒理解に努め、個に応じた対応ができるようにする。

○実態に応じた研修会を工夫する。

(4) 教育相談委員会

○不応生生徒の把握と早期対応に努める。

○OSCと連携し、学級経営の充実を図る。

○OSC、教育相談主任、養教の助言を受け、不応生生徒への指導計画を作成し、実施する。

【体力の向上を図り、心身ともに健やかな生徒を育てる。】

1 自他の生命を大切にする指導の充実を図る

(1) いのちの教育

○各学年で、教科・道徳・学活・総合に位置づけ、生命のつながりや大切さに気づかせる。

(2) 性教育

○養教と連携し、教科・道徳・学活・総合に位置づけ、発達段階に即した指導を行う。

(3) いじめ防止

○いじめアンケートを実施し、いじめの早期発見・対応に努め、誰もが安全・安心な学校生活を送れるようにする。

○主任会、教育相談委員会等での情報交換を密にし、全職員で全生徒を理解し指導する体制を構築する。

(4) 食育指導

○家庭科の授業を中心としながら、食に対する適切な判断力を養い、生涯に渡って健全な食生活ができるように指導する。

2 体力づくりを全校で取り組む

(1) 駅伝への取組

○駅伝への取り組み方を工夫し、全校体制で指導に当たる。

(2) 部活動

○原則週4回（休日は除く）の時間を確保し、指導に当たる。

○効率の良い練習方法を研究する。

○部活動数の適正化を図る。

(3) 体力テストの分析と対策

○体力テスト等の分析を行い、体育の授業を中心としながら、適切な対策を講じる。

3 健康・安全教育の充実に努める

(1) 危機回避能力の育成

○避難訓練や交通安全教室などを通して安全教育の充実に努める。

(2) 安全点検

○月1回の安全点検を確実に実施し、事故の未然防止に努める。

(3) 生活リズムの確立

○生活リズムに関する調査を実施し、保護者と協力して生活リズムの改善を図る。

(4) 清掃指導

○班編成や清掃の方法等を工夫し、本気で清掃に取り組む生徒を育てる。

V その他（大切にしたい数値）

1 欠席率	7 部員の数	13 家庭学習の時間
2 読書量	8 不登校生徒数	14 いじめの件数
3 進学先の人数	9 別室登校生徒数	15 保健室への来室数
4 学力テスト	10 表彰者数(各コンクール)	16 クレームの件数
5 体力テスト	11 交通事故の発生件数	17 来校者数(地域)
6 部活動の成績	12 問題行動の発生件数	18 アンケートの結果